

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

志を持った個人がチームとなり会社は「自走化」する

漆間 啓 (三菱電機代表執行役執行社長 CEO)

- 三菱電機では現在、パーパスプロジェクトを進めています。会社の従業員が自分自身のパーパス「マイパーパス」について考え、働く仲間と共有しながら社内コミュニケーションを活性化する取り組みです。パーパスは「志」と言い換えてもいいでしょう。将来的にどのような姿でありたいかという理想像です。
- チームが一つのことに徹底的に向き合い、お互いの方向性をうまくチューニングできると120%以上の力が発揮されることがあります。あの感覚を、多くの従業員に味わってほしい。みんなで一つになって何かを成し遂げた時の一体感、達成感を楽しんでほしいのです。こうしたことが組織のあちこちで生まれると何が起こるかという、会社は自走し始めます。志を持った個人がチームとなり、そこで生まれる仕事を楽しみながら取り組めるようになれば、いわゆる「ボトムアップ方式」となって、会社が自然と前に進んでいく。この「自走化」こそが、私の目指しているものです。
- 従業員がマイパーパスを持ち、会社のパーパスとの重なりを見つけることができているならば、より良いものが生まれてくるはずで

(参考:「日経ビジネス」2024年4月8日号)

建設業界の動向

今やサブコンが上に

- 「今は力関係でいえばゼネコンよりサブコンのほうが上だ」。複数のゼネコン関係者はこう嘆く。建設業界は元請けであるゼネコンを頂点に、重層構造になっている。仕事を発注する側であるゼネコンと、受注する側であるサブコン(空調設備や電気設備などの専門工事会社)との間には、「殿様と家来の関係」と言われるほど明確な上下関係があった。
- しかし今、そのヒエラルキー構造が変わりつつある。かつては工事代金や工期を厳しくする「サブコンいじめ」があったが、今はとてもそんなことはできない。サブコンは、半導体工場や製薬工場など、空調や電気に高度な設備を求める工事も多く手がける。近年はこうした利益率の高い工事の選別受注を強化している。今やサブコンにそっぽ向かれると自分たちの工事は進まない、サブコンなどの囲い込みを強化する。

(参考:「週刊東洋経済」2024年3月30日号)

ワンポイント経営アドバイス

「内発」のイノベーションが大事

名和高司(一橋ビジネススクール客員教授)

- VUCA(変動制・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代とは、先が見えない時代という意味です。見えないものを予測しようとするとうまくいきません。であれば、自らつくるしかありません。つまり、先が見えない時代はむしろイノベーションの好機なのです。そこでは、自分が本当にやりたいことは何なのか、あるいはつくりたい未来とは何なのかを考え、それをどのような人たちに届けたいのかという「内発」のイノベーションであることが大事です。
- ただ、イノベーションというキーワードは、発明のような技術革新と誤解されやすい。経済学者のシュンペーターも指摘しているように、発明とイノベーションは異なるものです。大切なのは技術革新を起こすことではなく、市場を創造することです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年3月30日号)

古典に学ぶ

四恩に感謝

- 私たちは、ひとりで生きているわけではありません。四つの恩によって生かされています。まず、命を授けてくれた両親、そして国、次に自分以外の人々や生き物、植物など、命あるすべてのもの。
- 最後が、三宝(仏様、仏の教え、仏教を伝える人たち)です。私たちを生かしているこの四恩に感謝しようと、空海は説きます。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)